



弟の部屋に 深夜まで居座る友達

チーズマルさんは、二十三歳で大人。弟さんとその友達は、まだ高校生だから未成年。同じ「常識的判断」の分かれ道になります。深夜の十一時を過ぎるまで自宅に帰らない弟さんの友達は、深夜徘徊に該当し、当然、青少年育成の立場からも補導や厳重な教育的指導の対象になると考えられます。

チーズマルさんにはあえて失礼な表現をしますが、わたし自身が目撃したところ、人生の岐路に立たされたときに参考にしている思考方法をアドバイスさせていただきますと、このようなケースでは、まずご自身が想像できる範囲の中で、一番「最悪な事態」を想定することです。あなたが友達に「もう遅いから帰らなさい」と言っても、ずるずると深夜まで弟さんと遊んでいて、午前様になった帰宅中、早く帰らなければと急ぐあまり、道路横断中に交通事故に遭ってしまう…としましょう。もちろん、あなた自身に重大な過失（責任）があるとは考えにくいでしょう。でもね、ほら最近テレビで放映されている某法律番組のように、「あなたがうちの息子に早く帰るように言ってくれてさえいれば、こんな事故には遭

● 高校生の弟の友達がよく家に遊びに来ますが、夜の11時を過ぎてもなかなか帰ろうとしません。注意はしますが、そう何回も繰り返すとかえって客に対して失礼かなと思ったりします。わたしからすると、他人の家に夜10時以降もいるのは非常識だと思うのですが…。
(浦添市・チーズマル・23歳)

今週のお助け人
きえ りゆうしょう
帰依 龍照さん
コザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職。琉球大学仏教研究会会長。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やしであれば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み 怨みは水に流せ」。

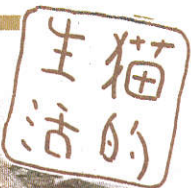
わなかったのに！ 訴えてやる！」となりかねない時代ですよ、現代は。少し大きいですか？
ここで言う極端なものの考え方というのは、帰宅を促して弟さんの友達に失礼にならないか、と迷うあなたに、本当の意味での「失礼」という言葉を知っていただきたいのです。本来この言葉は、先方に対して礼儀を重んじてご接待申し上げるべき時に、その作法や次第（段取り、プログラム）から外れることを言い、礼儀に反し、常識を失うことから来ている言葉であると習った記憶があります。

あなたの気遣いは通じる

地元沖縄では「住職さん、二杯茶飲んでイジメンソレ（行ってらっしゃい）」と、ウスコリー（ご法事）の時によく先輩方からお言葉をたまわります。出発の間際に急いでお茶を一杯飲んで駆け足で出て行ったら、途中で交通事故に遭ったらどうする、人生バタバタ慌てたら良い

ことはないから、二杯のお茶をゆつくり飲んで出発するくらい心のゆとりが大切だよ」という意味であるとうかがいました。夜遅くまでユンタクしても話題が尽きない青春真っ盛りの弟さんたちに、ただ「帰りなさい！」ではなく、昔からの「二杯茶」のエピソードのように、熱いお茶やコーヒーを入れてあげながら、「明日もまた来ればいいからね、きょうはお茶を飲んで帰ろうね」と優しくお話しされてみてはいかがでしょう。か。「帰りなさい！」の命令口調より、一緒にお茶しながらの会話は、お互い身体も心も温かくなるはず。そんなチーズマルさんの気遣いは、必ずその友達の心にも届くことでしょう。言うはその場の恥、言わぬは生涯の恥。姉として、ここはひとつ腕の見せ所ですネ。

このコーナーは年齢・性別・職業の異なるアドバイザーがあなたの心の悩みに答えます。相談したい事を編集部までお送りください(匿名可、秘密厳守)。採用分には記念品を差し上げます。



日差しの暖かさがうれしいのか、遊びモード全開。草むらに飛び込んだり、木を駆け上がったたりしてひとしきり暴れた後、デイゴの根っこで体をかくと気持ちいいことに気づいた。国際通りにて。(ハムナガ)